

田舎のお盆はお墓参りに家族や親せきが帰って来たり、何かと忙しく、賑やかな季節です。暑い夏を楽しく乗り切りたいですね。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◆除夜の鐘ゴルファーのつぶやき

ゴルフは得意ではありません。が、誘われれば喜んで参加します。但しスコアは、除夜の鐘・108ツくらい叩きます。

過日、いい本に出会いました。ゴルフダイジェスト新書『ゴルフアーのスピリット』という本です。上手いゴルファーよりも美しいゴルファー、誇りあるゴルファーになろう、というわけです。それならできそうです。

小生、ゴルフを始めてかれこれ30年になります。が、一向にうまくなりません。野球上りの身にとって、止まっているボールを打つなんてチョロいもん、と思いがつたのが災いのもと。ゴルフで上位に名を連ねたことは一度もありません。日に一発の会心の当たりがあれば、それでいいのです。だから満振りゴルフアーを自認してきました。

この本を読んで目が覚めました。体力よりも「スマートなへたを自指せ」とのこと。ミスのために騒いだり、仏頂面をしたりせず、「ミスのおかげでリカバリー」というチャンスをおかされた、有難いと思え」というわけです。力が抜けてきました。(館長 佐藤吉昭)

◆白球を飛ばす!

左手に手袋をはめ、両足を揃えて白球を睨んだ。すると、前のほうから空気を切り裂く

音とともに、カキーンという音が聞こえた。見上げると、白球がシューと音を出して飛んで行った。これから練習を始めようとしたところで、少し打つ気持ち削がれてしまった。気をとり直し、再び打席に立ち、ボールを見据えた。クラブをテークバックし、これから振り下ろす瞬間だった。一瞬、過去の記憶や先輩ゴルファーに言われたことなどが頭をよぎった。「ここでクラブを一気にボールめがけて振り下ろせ!」。次の瞬間、ドンと鈍い音とともにボールが飛び出した。唸りもあがない、チョロであった。「やってしまった!」。コースであれば、大きな穴があいていたところだ。それでも懲りずに100球を打ち続けた。何とか当たるようになったが、実際のコースではいつも思い通りにはいかない。当館には「池田記念美術館ゴルフ倶楽部」があります。興味のある方は、ご連絡ください。(岡西英孝)

◆八海山夢展開催

池田記念美術館の8月といえば、八海山夢展です。絵画・書道・写真・水石・俳句の5部門、約100人が出品します。今年は15回記念展を迎え、いよいよ出展者の意気も上がっております。魚沼を描いた絵画や写真、書や俳句が多く、水無川で採れる銘石・八海石も展示されます。地元美術家を中心とした展覧会です。ぜひご覧ください。

さて、作品の名札の下に、手書きのカードがあるのはお気づきでしょうか。作品コメントといって、作者が作品に込めたテーマや思

い、または撮影した場所などを、作者自身が書いたカードです。どんな気持ちで描いたのか、どんな場所で撮影したのか、作品を鑑賞する楽しみが増えるでしょう。気になった作品があったら、コメントもじっくり読んでみてください。きつと新しい発見があると思います。(広田かおり)

◆「音を楽しむ集い」無料コンサート

池田音楽クラブの入会者が190名になりました。「音を楽しむ集い」も10月で丸3年となり、うれしいお知らせがあります。プロの演奏家・橘光一さんが音楽クラブに加入され、8月から無料コンサートを盛り上げてくれることになったのです。

橘光一さんは、洗足学園短期大学音楽科電子オルガン専攻、同大学音楽学部パイプオルガン科を首席で卒業されました。キーボードイスト、ピアニストとしても様々な歌手・アーティストのバックバンドで演奏するなど、多くのコンサートに出演しています。洗足学園音楽大学・大学院の講師を経て、結婚を機に今年の1月1日より南魚沼市民となりました。現在も関東を中心に数々の合唱団や市民オペラ団体の伴奏者として活動中です。

8月31日(日) 14時より橘光一さんの第1



南魚沼市在住の橘光一さん

回目の無料コンサートを開催します。題して、橘光一の電子オルガン演奏会

マイフェアリットミュージック vol.1
皆さんが耳にしたことのある曲を中心に、今後は、ゲストを招いての演奏なども予定しています。ご期待ください。(佐藤良子)

◆ゆったり大人旅

青春18きっぷをご存知ですか? JRの普通・快速列車が1日乗り放題になる期間限定の切符です。その名前から18歳限定と勘違いされがちですが、年齢制限はなく誰でも利用できます。

学生時代の貧乏旅行では、観光名所をより多く回ろう! と無茶なプランを立て、楽しい思い出とぐつたりの疲労感をお土産に帰ってくることも度々ありました。ですが、余裕が出てくる年代になると、今度は仕事や子育てなどで忙しく、機会がありません。

知り合いのご夫婦は18きっぷを使って大阪まで長旅をしました。車窓からの風景を眺めながらの旅はとても心地よいものだったそうです。たまには時間に追われず、のんびりした旅もいいなと思いつくのでした。(櫻井多美子)

◆山里の穏やかな休日

休館日の朝早く、山の中からパーン、パーンと乾いた音が聞こえてきました。猫もキョトンとしています。しばらくすると、さつきよりも近くから音が響き、家の前を狩猟用ライフルを手に男の人が山に向かって歩いて行くのです。銃の音だやと気がついたのですが、ついにはクマが出たのかなど心配しましたが、村の中は静寂そのものです。その晩、居酒屋の常連は、カラスカサルの駆除で空砲を撃ったのではないかと教えてくれました。真相は不明ですが、山里の一日は何事もなかったかのように穏やかでした。(高橋良一)

越南、日本画の流れ

桑原逸庵

戦後の暮らしも回復しつつあった昭和23年、大津天心、高橋翠山、桑原芳逸、松永峻嶺らの発起で、三魚沼の同好会を一つにまとめ、魚沼日本画同好会を結成、総勢36人が賛同しました。

事務局、展覧会場を塩沢に置き、郡美術展（南魚）が誕生する昭和43年近くまで続きました。

その後、主流だった軸物も、住宅様式や人々の感性の変化に伴い、画風も変わり、額装が多くなってきたようです。

先月、魚沼市で開かれた宮里静輝展を拝観し、明治、大正、昭和の画風に、東洋人の心の奥にある琴線をノックされた思いがしました。これぞ絵画が持ち得る力だと、心が洗われる思いでした。

日本古来の墨を基調とした日本画が失われつつあるなか、越南でも、豪湖、爽邦、大幾、静輝、六陽、月庵などたくさんの方がおられました。微力ですが、その方々の志を少しでも後世に受け渡す一途になればと思っています。
(彩月会代表)



桑原逸庵「岳高く川長し」

池田記念美術館 展覧会&イベント情報

南魚沼市市制施行 10 周年記念

第 15 回記念 八海山 夢展

特別協賛：八海醸造株式会社 hakkai 株式会社

◎ 1 階企画展示室・多目的ホール・2 階日本美術展示室 ◎ 期間：8 月 2 日（土）～9 月 2 日（火）

夏の風物詩ともなった夢展。絵画・書道・写真・水石・俳句の作品 130 点が大集合！

夢展“美のツボ”開催決定！ 出展作品の見どころや鑑賞のコツを出展者が説明、実演もあります。

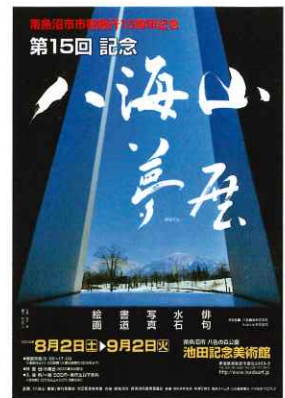
写真部門 8 月 9 日（土）13：30（受付13：00）初心者向け写真教室（特別講師・田辺千勝）デジタルカメラ所持！

書道部門 8 月 10 日（日）10：00 揮毫（原澤無啼）参加者と一緒に書を書くコーナーもあります

水石部門 8 月 10 日（日）13：30 作品解説、基礎的な鑑賞方法と産地の説明（小島達夫・中島哲夫）

俳句部門 8 月 17 日（日）10：00 作品鑑賞と俳句の楽しみ方を説明（森山暁湖）

絵画部門 8 月 17 日（日）13：30 作品解説（高橋正則）



第15回記念 八海山夢展 ポスター

プロ野球 80 年—新時代到来！

◎ 2 階スポーツカード展示室

10 月中旬まで開催中

80 年を迎えるプロ野球を熱く応援。最新のベースボールカードを展示中です。「ドラフト 1 位指名」「助っ人外国人ベスト 10」のパネルコーナーも設置し、1986 年に来日したメジャーリーガーのサインボールや 100 年前の貴重な大リーグカードも公開中です。



100 年前の大リーグカードは必見です

常設展

「日本美術展示室」八海山夢展の開催中（8 月 2 日～9 月 2 日）は一部を夢展の会場として使用するため、會津ハーナーのみの展示となります。「小泉八雲展示室」日本文化を深く愛した小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）。小泉家秘蔵の資料約 1500 点の中から、直筆原稿や公文書、家族との書簡などを展示しています。「スポーツ文化展示室」野球、相撲、オリンピックを中心としたスポーツコレクション。草創期の野球文化を知るユニフォームなど歴史的な展示品を見ることができます。

◎次回展覧会&イベント情報

■大嶋月庵・桑原逸庵 師弟展

◎ 期間：9 月 5 日（金）～9 月 23 日（火）

日本水墨院展で共に内閣総理大臣賞を受賞した魚沼出身の師弟。二人の代表作を展示します。

■日本水墨院新潟県支部 彩月会 水墨画展

◎ 期間：9 月 26 日（金）～9 月 30 日（火） 当館での開催も好評 7 回目となった定期展です。

■ ① 月例音楽会 8 月 24 日（日）11 時 30 分 ② フォークソングの日 8 月 24 日（日）14 時

③ 橘光一の電子オルガン演奏会“マイフェバリットミュージック vol.1” 8 月 31 日（日）14 時

Shop 情報 夢展出展者の小品販売

八海山夢展の開催中、出展者有志の作品を販売します。この機会をお見逃しなく！



池田記念美術館 南魚沼市浦佐 5 4 9 3 - 3 （八色の森公園内）
TEL 0 2 5 - 7 8 0 - 4 0 8 0 / FAX 0 2 5 - 7 7 7 - 3 8 1 5

【開館時間】9：00～17：00（入館受付は16：30まで）

【入館料】一般 500円 高校生以下無料

【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【8月の休館日】

毎週水曜日（6日、13日、20日、27日）

※ 1 日は展示替えのため臨時休館となります。

※ 展覧会の最終日は 1 5：0 0 閉館（入館受付は 1 4：3 0 まで）